

読書の楽しさを味わい、心豊かな子に

校長 松井克仁

土岐小学校では、12月1日(月)～12日(金)の2週間「図書館祭り」がありました。めあては「いろいろな分類の本を読み、本の世界を楽しもう」でした。主な取組内容は、①「10の分類の本を読もうカード」、②市民図書館の方によるブックトーク、③図書委員による図書館クイズ、④家族読書(ご協力ありがとうございました)です。毎日図書館は大勢の子供たちで賑わっていました。

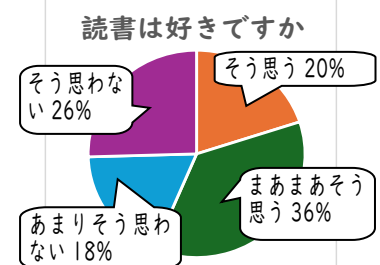
全国学力・学習状況調査の児童質問紙「読書は好きですか」の質問に、本校6年生は、「そう思う(20%)」「まあまあそう思う(36%)」「あまりそう思わない(18%)」「そう思わない(26%)」と回答(右グラフ)しています。57%の児童は「読書が好きか」に対して肯定的であるのに対して、43%の児童は否定的であることが分かります。私は、以前と比べて読書が好きな児童の割合が減ってきている印象を受けます。その要因は様々でしょうが、SNSの普及による子供たちの時間の過ごし方の変化があるのではと感じています。

読書には、知識が深まり視野が広がること、語彙力・思考力・想像力が豊かになることなど、様々なよさがあると言われています。いろいろな分類の本と出会うことで、読書の楽しさを感じてほしいと考えています。今回の図書館祭りが、子どもたちの読書への興味・関心が広がる機会となってくれることを願っています。

以下、取組における児童の感想を一部紹介します。



【期間中の朝の図書館の様子】



【ブックトークの様子】

【家族読書の児童の感想より】

- ・本を読むと新しいことをいっぱい知ることができると思いました。楽しかったです。
- ・いろいろな分類の本を読むことができました。難しいところもあったけど、お家の人と読めてよかったです。(以上、1年生)

【ブックトークの児童の感想より】

- ・一番心に残った本は「じゅげむ」です。訳は、名前がどれだけ長くても両親がその子のために大切につけた名前なんだということが伝わってきて、私も私のために付けてくれた名前を大切にして感謝しようと思いました。(6年生)
- ・私が一番心に残った本は、「世界あちこちゆかいな家めぐり」です。訳は、私は世界の子供がみんな日本と同じような家だと思っていたけど、地下にある家やテントのような家、お城みたいな家もあってとても面白いと思いました。これからは世界の本をたくさん読んでみたいと思いました。(5年生)
- ・今日のブックトークを聞いて、私はもともと本が好きでしたが、それがもっと好きになりました。(4年生)

(株) 今井土木様から書架の寄付

(株) 今井土木様の創立 80 周年に際して、地元の桔梗こども園・土岐小学校・瑞浪北中学校に「子供たちのために役立ててほしい」と寄付を頂きました。本校には図書館の書架(右写真)を頂きました。早速図書館に設置しました。今まで以上に多くの本を綺麗に並べることができ、子どもたちも嬉しそうに本を選んでいきます。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



【寄付していただいた書架】